

# テーマ 日韓関係をどうとらえ、どう臨むか

— 2020 年愛知 / 東海大会に向けて —

## 講演 歴史に学び朝鮮半島との平和を築く

講師 加藤 圭木 氏 (一橋大学)

## 報告① 日韓共同の授業実践交流

～26 年も続いた意義を語る

三橋 広夫 氏 (日韓教育実践研究会代表)

## 報告② 東京オリンピックの光と影

～今、どういうことがおきているか

石出 法太 氏 (歴教協会員)

## 意見交流 / 閉会

日時 2020 年 1 月 12 日 日 10 時～16 時

会場 東京労働会館・ラパスホール

時程 / 10:00～講演 13:00～報告と討議① 14:00～報告と討議②  
15:15～意見交流 / 閉会

資料代 / 1500 円 (学生・U25 は 1000 円)

講演：日韓関係悪化の背景には、植民地支配の歴史に真摯に向き合わない安倍内閣、またそれを批判しないマスコミなどの対応があります。私たちは、今こそ、歴史の真実をしっかりと学ぶことが大事です。

報告と討議①：1994 年から今年で 26 回、日韓の教師が子どもとともに悩みながらの実践を交流した報告です。

報告と討議②：映像『検証！オリンピック—華やかな舞台の裏で』も紹介しながら東京オリンピックを考えます。



一般社団法人 歴史教育者協議会

〒170-0005

東京都豊島区南大塚 2-13-8 千成ビル

TEL 03-3947-5701

FAX 03-3947-5790

E-mail=jimukyoku@rekkyo.org

https://www.rekkyo.org/